

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
死生学		BNNBS7L16	10302	4前	2(30)	選択
担当教員	佐藤 泰子					
概要	「生」と「死」についての不断の追究が求められる職業につく以上、死生学へのアプローチは不可欠となる。生死に対峙する姿勢の根本になるものが医療者自身の死生観である。死生観の基盤になっている民俗的、歴史的、宗教的、倫理学的思想を概観しながら、科学、医学発展の途上で露わになってきた死生に関わる諸問題について議論することで自身の死生観を捉えてほしい。将来、生命倫理に纏わる問題に直面するとき、自分の行動選択や意思決定を支える理論を身につける一助となる授業を展開したい。					
学修目標	1) 死生に関わる問題を包摂した事例を知る。 2) 事例について倫理理論に基づいた考察ができる力を養う。 3) 自己の考えを言語化する能力を身につける。					
DPとの対応	智をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解		職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力	◎	ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	死生学とは（なぜ死生学か 死生学と生命倫理）			生活のなかの「死」に関わる問題を意識しておく		
2	安楽死・尊厳死① （安楽死に関わる世界の動向と歴史的背景を概観する）			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
3	安楽死・尊厳死②（映画『海を飛ぶ夢』に学ぶ）			映画を見て感じたこと考えたことをまとめる		
4	安楽死・尊厳死③（自己決定・尊厳という言葉に隠れたレトリック）			純粋な自己決定があるか考えてみる		
5	脳死と臓器移植①（歴史と課題）			脳死臓器移植に関する情報収集		
6	脳死と臓器移植②（事例からの考察）			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
7	生命倫理の視座から①（直観的善悪判断の限界と倫理理論）			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
8	生命倫理の視座から②（功利主義とカントの義務論）			功利主義的判断の事例を日常に探す		
9	出生前診断と人口妊娠中絶			左記に関する自身の考えをまとめておく		
10	生殖補助医療			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
11	障がい者への差別・偏見の根源			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
12	精神医療の歴史にみる精神障がいと死生			授業のレジュメを復習し自身の考えをまとめておく		
13	ハンセン病の歴史と優生思想			ハンセン病に関する情報収集		
14	性的マイノリティ・被災者の死生			左記に関する情報に目を向けておく		
15	スピリチュアルペイン・生きる意味への問い			授業全体での自身のなかの気づきをまとめておく		
使用テキスト	特になし					
参考図書	適宜紹介する					
成績評価基準	授業参画度40%、レポート課題60%					